



## 名誉組合員 小山勇吉氏 逝去 多くの参列者 別れ惜しむ



ようてい農業協同組合名誉組合員であり、初代代表理事組合長の小山勇吉氏が、去る令和6年12月27日午前4時58分、88歳をもってご逝去されました。小山氏の人徳を偲んで多くの方が参列し、故人との別れを惜しまれました。

令和6年12月29日（日）午後6時より通夜、翌30日（月）午前10時より告別式が執り行われました。

葬儀は、八田米造代表理事組合長を葬儀委員長に、小山家・ようてい農業協同組合の合同葬としてしめやかに執り行われました。

葬儀では、葬儀委員長の八田米造代表理事組合長より故人の人柄や数々の功績に感謝す

る式辞が述べられました。告別式では、金子辰四郎代表理事専務より故人の功績を称える弔辞が捧げられたのち、京極町長佐古岡秀徳氏、廣徳寺責任役員堅田光良氏より故人の思い出を語る弔辞が捧げられ、参列者はそれぞれに故人との記憶に思いを馳せ、会場は深い悲しみに包まれました。

故人は、昭和59年4月以来、旧京極町農業協同組合理事、代表理事組合長として組合員の経営安定とJAの健全経営に努める一方で、近隣JAとの大同団結の必要性を組合員に積極的に啓蒙されました。平成9年3月、9か町村8JAの広域合併を実現され、ようてい農業協同組合の初代代表理事組合長として就任されました。平成14年6月からはJA北海道厚生連副会長、JA共済連北海道運営委員会副会長として管内のみならず、北海道農業の発展にご尽力されました。

これらの功績が認められ、平成12年には北海道農業協同組合功労者表彰、平成17年には北海道産業貢献賞及び全国農業協同組合中央会農協功労者表彰、平成19年には旭日双光章を叙勲されたのち、平成22年にはようてい農業協同組合で初めての名誉組合員として推戴されました。

初代組合長として、地域農業の振興とようてい農協の発展に多大なる功績を残され、厳しい中にも大きな優しさを持って使命遂行に



当たられた崇高な精神は、役員模範として永久に語り継がれ、農協運動の執行者にとって大きな指標になっています。

ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

